

秋葉1丁目

ふれあい通信

第80号

平成24年7月1日

秋葉区秋葉一丁目

町内会会長 後藤 洵

七色の池の清掃を行いました

6月3日(日)秋葉青年会及び町内有志の皆さん約40人が参加し、恒例となっている七色の池の清掃を行いました。

今年は池の底ざらえは行いませんでしたが(これは一年おきに実施)、池周辺の草刈りや周囲に積もった落ち葉の除去、繁茂しすぎた雑木の整理等を行いました。

作業にあたった皆さんのご苦勞により七色の池もすっきりとして初夏を迎えることができました。



花壇の整備と花苗の植え付けを行いました

秋葉1丁目町内会及び花の会は桂並木、せせらぎ遊歩道沿いの管理を行っています。今年も皆様方が美しい花を楽しんでいただけるように、隣組長の皆さんや町内のボランティアの方々への参加もいただき、6月17日(日)に花壇の準備(参加者35人)、24日(日)には花苗の植え付け(参加者38人)を行いました。

植えたのはマリーゴールド、サルビア及びポーチェラカ。これから美しい花で皆様方の心をなごませます。なお、せせらぎ遊歩道沿いの花壇には昨年タイタンビカスを植えました。これは宿根草なので、今年は昨年にもまして大きく育ってきており、夏の暑い盛りを中心に大きな花を咲かせます。

なお、植え付け後の花壇への灌水等の管理は町内会役員と花の会メンバーが班編成を組み、交代で行っています。



町内の皆様方の地域活動への積極的な参加をお願いします

七色の池清掃や花壇の管理は秋葉青年会や町内会が主体となり、地域の皆様のご協力を得て実施しています。地域が美しくしかも安全でいられるのも、これら地域活動によるところが大きいといえます。しかし全国的にも、特に都市部においてはそこに住んでいる方々の地域活動への関心が低下し、参加者数の伸び悩みも見られます。

しかし災害時の安全確保等のためには、日常における地域活動が活発かどうかが大きく影響してきます。町内の皆様方の地域活動への参加・協力をよろしくをお願いします。

最も良い「ゴミの分別」とは

「混ぜればゴミ、分ければ資源」という言葉が示すように、家庭から排出されるゴミも適切に分別して出せばより良い資源となります。

ここで「プラスチックトレイ（発泡スチロール製）」を例に見てみましょう。

◎イチオシ…プラスチックトレイはスーパーの分別回収へ

プラスチックトレイだけをまとめて集めれば、再度プラスチックトレイを作る等の**高品質な資源**にすることができます。

◎セカンドチョイス…「プラスチック包装容器」として水曜日に出す

処理工場でプラスチックの種類毎に分別（ポリエチレン、ポリプロピレン、PET 樹脂、スチロール樹脂等）し、それぞれの種類毎にリサイクルします。選別等のためにかなりのコスト・エネルギーがかかってしまいます。また完全には分別できないので、その分品質の低い資源にしかありません。

◎ちょっとどうかな？…「燃やすゴミ」として火・木・土曜日に出す

ゴミ焼却施設で燃やした際のエネルギーはそれなりに使うことはできますが、トレイそのものを資源として利用することはできません。

間違いではありませんが、できればスーパー等の分別回収へ。

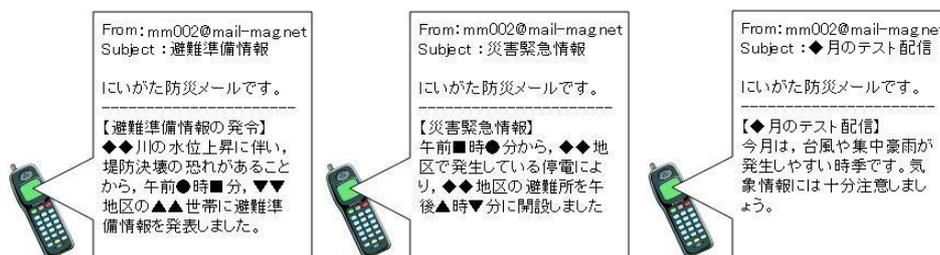
◎最悪…道ばた等に捨てる

コンビニ等で買い喰いした後の容器、トレイ等を道ばたや空き地等に捨ててあるのを時に見かけますが、環境破壊以外の何物でもありません。このようなマナーの悪いことは絶対に止めましょう。

「にいがた防災メール」の受信

にいがた防災メールは新潟市危機管理防災課が提供する以下の情報をパソコン、携帯電話のどちらでも受信できます。

- (1)避難情報（避難準備情報、避難勧告及び避難指示）
- (2)災害等に関して緊急に配信する必要が認められる情報
- (3)防災啓発に関する情報（月1回、テスト配信を兼ねる。）



これを受信するためには、携帯電話では右上の二次元コードを読み取って、またパソコンの場合には下記アドレスあるいは「にいがた防災メール」で検索してアクセスし、所定の手続きにより登録してください。

http://www.city.niigata.lg.jp/kurashi/bosai/index_jijo/niigatabousaimail/index.html

弔 謹んでご冥福をお祈りいたします

神田留治様 平成24年6月8日逝去 享年88歳

